

ワイヤーネット被覆工実証試験 —落石転倒実験—

(平成 23 年 1 月, 広島県北広島町地内)



ワイヤーネット被覆工の実物大実証試験仕様

- ・コンクリート球: $\phi 1\text{m}$ ($1.2\text{t} \times 4 \text{ヶ} = 4.8\text{t}$)
- ・ワイヤーリング径 $\phi 35\text{cm}$
- ・ワイヤーロープ径 8mm (ステンレス製)
- ・くさび式アンカーピン打設本数: 3 本/球

斜面对策研究会



—ワイヤーネットの高い拘束力と自在性を実証—

- ◎ワイヤーネットの高い拘束力により傾斜後も全体の重心位置が保持され、予定通り傾斜45°で転倒。
- ◎ワイヤーネットの自在性(吸収エネルギー)が高いことから、高さ2mから転倒しても一体化が保たれている。